

農業農振部公共事業等評価シート

			NO	大月 - 1	
事業名	地域ため池総合整備事業	地区名	大月	市町村名	大月町
事業期間	平成25年度～29年度	事業主体	高知県		
総事業費	767,000千円	負担割合	(国) 55% (県) 35% (町) 10%		

◇ 事業概要

①対象者（受益者）

【宮ノ越池】

洪水被害面積 A=26.3ha 農業用施設 4,058m (用排水路 3,267 m 農道 791 m)
住居 85 戸 町道 1,428 m 公共建物 1ヶ所

【宮ノ下池】

洪水被害面積 A=24.3ha 農業用施設 5,620m (用排水路 3,990 m 農道 1,630 m)
住居 12 戸 町道 510 m

=====
(大月地区計)

洪水被害面積 A=50.6ha 農業用施設 9,678m (用排水路 7,257 m 農道 2,421 m)
住居 97 戸 町道 1,938 m 公共建物 1ヶ所

②目的

宮ノ越池は築造後59年、宮ノ下池は築造後68年が経過し、堤体下流部への漏水や堤体の浸食、洪水吐の老朽化により危険な状態となっている。このため、本事業によりため池の抜本的な整備（改修）を行い、台風や集中豪雨等よるため池決壊等の災害を未然に防止する。

③整備手法（事業内容）

工種	事業量	事業内容	事業費(千円)
ため池改修	2箇所	①宮ノ越池 貯水量：171.8千m ³ 堤高：21.9m 堤長：70.0m 洪水吐(B=5.0m) 底樋管(φ800mm L=113.3m) 取水施設φ500mm 1ヶ所 緊急放流孔 1ヶ所	653,000
		②宮ノ下池 貯水量：11.9千m ³ 堤高：6.7m 堤長：55.0m 洪水吐(B=2.0m) 底樋管(φ800mm L=32.5m) 取水施設φ300mm 1ヶ所 緊急放流孔 1ヶ所	114,000
計			767,000

1 対象者とそのニーズの説明

①事業の対象者（地域あるいは受益者）が、現状でどのような問題や課題を持ち、それをどんな状態に改善する必要があるのか

ため池下流の集落では、自主防災組織がH14年度（宮ノ越池）、H16年度（宮ノ下池）に設立されており住民の防災意識が高い地域である。

自主防災組織では、ため池の老朽化により決壊のリスクが高まったことに危機感を持っており、早急な対策を望んでいる。このため、堤体の改修工事を実施して農村生活の安全・安心を確保する必要がある。

②その問題を生じている原因は何か、課題を解決するために必要な条件は何か

【原因】

- ・ため池の老朽化（両池は築造後59年と68年が経過）による漏水・浸食及び洪水吐の断面不足等

【解決策】

- ・ため池の改修

③課題解決をしなかった場合、どのような影響があるのか

【下流への影響】

- ・下流域の被害想定額は 452,832千円である。

被害想定

住居	農地	農業用施設	公共施設	
	田	用排水路・農道	公共建物	町道
97戸	28.6ha	9,678m	1戸	1,938m

【農業への影響】

- ・本地区の営農は、ため池からの用水供給に依存しており、被災した場合は受益地へのかんがい用水の供給が不可能となる。

2 整備手法の選択理由

①ニーズや課題解決に対し、これまで、どのような対策を講じてきたか。

- ・当該ため池は、姫ノ井地区（宮ノ越池）、内平地区（宮ノ下池）で管理しており、草刈りや軽微な修繕等の維持管理を定期的の実施しているが、老朽化が進行し軽微な修繕等では対応できない状況となっている。

②この事業の整備手法が、ニーズにどのように適合しているか（原因や必要条件との関連性）

- ・ため池を改修することで、ため池の決壊時の災害を未然に防止し、下流域の安全を確保する。

③他に考えられる整備手法より、この手法が優れていると考えている理由（複数の選択肢との比較検討。なお、比較検討の際にはランニングコストも含むこと）

・堤体工

検討項目	当該整備手法	他の整備手法
用水の確保	【ため池改修】 既存ため池を改修することより、安定した用水量の確保とともに、決壊リスクを低減して下流域の保全を図る。	【代替え水源（井戸水）】 既存ため池を廃止し用水量確保のため、地区内に集水井戸を設け揚水する方法である。 しかし、当地区では河川水・地下水による必要用水量の確保が困難。
判定	○	×

3 事業の全体コストの把握

①総投資額（ランニングコストを含む）に対する費用対効果 (千円)

	総費用額	総便益費	総費用総便益費
宮ノ越池	561,739	2,073,479	3.69
宮ノ下池	66,917	414,666	6.19
計	628,656	2,488,145	3.95

$$\begin{array}{rclcl}
 \text{総便益額 (B)} & \div & \text{総費用額 (C)} & = & \text{投資効率 (B/C)} \\
 2,488,145 & \div & 628,656 & = & 3.95
 \end{array}$$

②事業主体の負担額及び対象者（受益者）の負担額の妥当性

	負担率	負担金額（千円）
国	55	421,850
県	35	268,450
町	10	76,700
合計	100	767,000

※受益者負担なし

- ・計画的な財政負担が可能か
大月町の負担について必要な投資として了解を得ている。

4 目標水準（地域構想あるいは営農計画等）の設定 [完了後おおむね5年以内での目標を想定]

目 標	・農業用水の安定供給と安全・安心な生活環境の確保。
現 状	・地域の主水源であるため池の老朽化が進行し、ため池の決壊リスクが高まっている。

5 その他

地元の同意は十分にとれる見込みである。